

糖尿病ワーキング挨拶

高知赤十字病院 ICU 看護師
濱田一豊

こんにちは。

日本糖尿病療養指導士／糖尿病看護認定看護師の濱田一豊です。

この度、多くの方に応援していただき、当院二人目の糖尿病看護認定看護師になることができました。

現在勤務する救命救急センター病棟（30床、うち ICU 8床）では、内科、外科問わず救急外来、一般外来からの入室、また手術後の入室と、全身状態や患者様を取りまく状況も多彩多様な患者様が入室されています。

超急性期かつ重症の患者様と関わる中で、血糖コントロールに難渋したり、糖尿病を合併することにより治療の効果が得られず、疾患管理と療養指導の重要性を実感してきました。また ICU において、スタッフを対象にした急性期の血糖管理と療養指導の重要性、糖尿病看護の重要性を教育指導する機会を持ち、啓蒙活動をおこなってきました。その中で、さらなる自己のスキルアップが必要不可欠だと感じ、認定看護師を目指し、今回取得しました。

今後は、急性期からの療養指導・悪化させない糖尿病管理という視点での教育、症例検討を重ね、院内外での教育の充実を図りたいと考えています。

2012 年の国民健康・栄養調査によると、糖尿病患者や糖尿病予備軍は、男性 27.3%、女性 21.8%を占め、成人のおよそ 4 人に 1 人に及びます。また糖尿病が強く疑われる人は 950 万人で、前回調査（2007 年）より 60 万人多く、過去最多となりました。今後も増加し続けると予想される糖尿病患者様のセルフケアを支援し、糖尿病の重症化を予防するためにも、認定看護師の役割である実践・指導・相談活動に全力で取り組みたいと考えています。

糖尿病看護認定看護師に特化した技術として、血糖パターンマネジメント技術（血糖コントロール管理）、フットケア技術（合併症予防）、糖尿病ケアシステム立案技術（集団指導や地域ネットワークシステムにおけるチームアプローチの促進）があります。これらは、糖尿病チームの一員として、より質の高い糖尿病ケアを推進し、糖尿病を抱え生活をする患者様とその家族の生活の質の向上に向けて、悪化を防ぎ、病期に応じた健康的な生活が継続でき、発症予防においても貢献するためのものです。

糖尿病チームのメンバーと共に、院内・院外を含めた糖尿病ケアの質の向上に尽力していきたいと考えていますので、よろしくお願い致します。